（別記）

令和８年度にかほ市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、秋田県南西部に位置し、南に鳥海山、西に日本海を臨む、山と海に抱かれた県内で最も温暖な地域である。その立地条件を活かし、水稲を主体とする農業生産が展開されている。さらに、経営の発展を図るため、近年では大豆やそばを中心とした集団転作による団地化が進められ、いちじくやねぎ、小菊、リンドウ、アスパラガス等による複合経営が増加している。しかしながら、湿田が多く存在し、加工用米、飼料用米、新規需要米、WCS 用稲などの非主食用米が転作作物の大部分を占めている状況である。このため、今後の米価変動や主食用米の消費減少に対応するには、高収益作物を導入した複合化をさらに推進する必要がある。

また、農業従事者は高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が顕著である。そのため、担い手の育成・確保が急務である。

さらに、大豆などの土地利用型作物については、水田特有の排水不良による収穫量の低迷や連作障害、近年の異常気象による単収低下などが原因となり、年次による収穫量の変動が顕著である。このことから、収穫量の向上や生産の安定化が重要な課題である。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

水稲単作経営農家が大勢を占める当地域において複合経営を確立させるため、秋田県や地元 JA でも推進しているリンドウや小菊、ねぎ・アスパラガス等を中心とした高収益作物の作付けを支援し、作付面積の拡大を推進することで、収益性の高い複合型農業の定着を図る。

特に、産地の振興品目や特産品として有利販売が期待できる高収益作物については、関係機関と連携し栽培技術等の支援を行うことで、収量増加及び作付面積拡大による所得向上を図り、作物の産地化とブランド化への取り組みを推進する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農家の高齢化により遊休農地が年々増加している一方で、集落営農や法人による農地の集積が進んでいる。その多くでは、そばや大豆といった土地利用型作物が作付けされている。遊休農地の解消と担い手農家への農地集積化を図るため、引き続き集落営農や法人によるそばや大豆の作付けを支援していく方針である。

また、水稲を組み入れない作付け体系が定着している地域については、地域との話し合いや定期的な巡回を通じて状況を把握し、畑地化やブロックローテーション体系の構築に関する支援内容の情報提供などを行い、必要に応じた助言を実施する。令和４年度に秋田県が実施したアンケート調査によると、ブロックローテーションに取り組んでいる農家の割合は、大豆で３０%に達している一方、そばやねぎではほとんど取り組みが進んでいない結果となった。

畑作物の定着がみられるほ場については畑地化を促進し、水稲との輪作が可能な作物に

ついては、計画的なブロックローテーションを活用することにより、生産性の向上を図る支援を行う。

４　作物ごとの取組方針等

当地域の約 2,745ha（不作付地を含む）の水田について、適期適作を基本として産地交付金を有効活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

（１）主食用米

需要に応じた売れる米づくりを更に進めるため、地域農協の推進する土づくりの実践を基本とし、高品質・良食味米の安定生産を図る。

（２）備蓄米

主食用米価格を参考に落札価格が設定されることから、時勢を見ながら作付けに取り組む。

※備蓄米については、令和８年産米の備蓄米に関する政府買入の動向を踏まえ、主食用米及び非主食用米等へ変更する場合がある。

（３）非主食用米

主食用米の需要量の減少が見込まれる中、水田を最大限活用し不作付地の発生を未然に防ぐため、新規需要米・加工用米・備蓄米を作付けし、需要者とのマッチングを円滑に図り需要に応じた生産数量を確保する。

ア　飼料用米

主食用米の需給の安定を図りつつ、実需者への安定供給にむけて複数年契約による取り組みを中心とした要件による飼料用米の本作化を推進し、目標達成に向けた支援を行っていく。

イ　米粉用米

主食用米の需給の安定を図りつつ、実需者への安定供給にむけて複数年契約による取り組みを中心とした要件による米粉用米の本作化を推進し、目標達成に向けた支援を行っていく。

ウ　新市場開拓用米

減少する米の国内消費を踏まえ、米農家の所得向上を図っていくためには、新たな消費を見いだし、推進していくことが重要であることから、生産者の営農安定のため、複数年契約の拡大に取り組み、将来の需要の受け皿として需要の動向を見極めながら推進していく。

エ　WCS 用稲

地域内での耕種農家と畜産農家の結びつきを強化しながら、粗飼料の安定生産を図るために作付面積の拡大を図る。

オ　加工用米

主食用米に代わる作物として、今後の需要の動向を的確に把握しながら需要に応じた生産に取り組み、時勢を見ながら作付けに取り組む。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦については、地域内において取り組みはない。

大豆については、組織による作付けが普及しており、今後も作付面積の拡大を図る。また、単収の低下が地域の課題になっていることから、土づくり肥料の散布や排水対策、病害虫防除対策への取り組みを推進し、収穫量を増加させ収益力の向上を図る。

飼料作物については、需要者とのマッチングを円滑に図り需要に応じた生産数量を確保する。

（５）そば

不作付地の有効活用に資する作物として、実需者との契約を基本として作付面積の拡大を図る。

そばについては、単収の低下が地域の課題になっていることから、土壌改良剤散布や重機等による排水対策への取り組みを推進し、収穫量を増加させ収益力の向上を図る。

（６）地力増進作物

基盤整備事業実施後は、地力が低く作物の生育が悪いとの声が過去に基盤整備を実施した農業者から寄せられている。令和８年度に基盤整備が実施される地区において地力増進作物の作付け、すきこみにより、次年度からの営農に備える取り組みを支援する。

（７）高収益作物

水稲単作経営農家が大勢を占める当地域において複合経営を確立させるため、高収益作物の作付けを支援し、作付面積の拡大を推進し、収益性の高い複合型農業の定着を図る。また、地域振興作物（ねぎ、アスパラガス、業務用キャベツ、さやいんげん、さやえんどう、スナップエンドウ、ミニトマト、菊類、リンドウ、シャインマスカット）の作付けを重点的に支援し、作付面積を拡大させ、作物の産地化及びブランド化を図る。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	1,740.5	0.0	1,529.3	0.0	1,529.3	0.0
備蓄米	0.0	0.0	180.0	0.0	180.0	0.0
飼料用米	2.5	0.0	60.0	0.0	60.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	2.1	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
WCS用稲	11.5	0.0	17.0	0.0	17.0	0.0
加工用米	112.1	0.0	7.0	0.0	7.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	124.5	0.0	170.0	0.0	170.0	0.0
飼料作物	8.5	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	277.2	124.1	316.5	0.0	316.5	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0.0	0.0	34.8	0.0	34.8	0.0
高収益作物	60.2	0.0	53.5	0.0	53.5	0.0
・野菜	30.1	0.0	22.3	0.0	22.3	0.0
ねぎ	11.3	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0
アスパラガス	2.4	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0
業務用キャベツ	1.7	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ミニトマト	0.5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
さやいんげん	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
さやえんどう	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
スナップエンドウ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
馬鈴薯	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
枝豆	2.0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0
トマト	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
菌床しいたけ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ほうれんそう	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ミョウガ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ウド	0.5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
カナカブ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
そら豆	1.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
玉ねぎ	1.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
にんにく	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ナス	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
タラの芽	3.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0
きゅうり	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
かぼちゃ	0.8	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ピーマン	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
オクラ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
イチゴ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キャベツ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ブロッコリー	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
カリフラワー	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
チンゲンサイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ナバナ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コマツナ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
モロヘイヤ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
セリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大根	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サトイモ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヤマノイモ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
マコモダケ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ツルムラサキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハクサイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ズッキーニ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菌床きくらげ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ユウガオ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ゴーヤ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
トウガラシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ニラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カブ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レンコン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サツマイモ	4.1	0.0	9.6	0.0	9.6	0.0
・花き・花木	15.4	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
菊類	11.0	0.0	8.4	0.0	8.4	0.0
リンドウ	2.8	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0
ベコニア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペチュニア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サルビア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マリーゴールド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パンジー	1.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
ビオラ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ダリア	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
シンテッポウユリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
トルコギキョウ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
バラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヒマワリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケイトウ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ストック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
キンギョソウ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チューリップ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シクラメン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・果樹	14.6	0.0	21.2	0.0	21.2	0.0
いちじく	13.9	0.0	19.8	0.0	19.8	0.0

	キウイフルーツ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブルーベリー	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
	ブドウ（シャインマスカットを除く）	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
	シャインマスカット	0.7	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0
	モモ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	・その他の高収益作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小豆	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	エゴマ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化		4.9	0.0	16.0	0.0	16.0	0.0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆（基幹作物）	大豆収穫量増加対策支援（土づくり）		（令和7年度）	（令和8年度）
			作付面積	124.5 ha	170.0 ha
			取組面積	98.3 ha	136.0 ha
			10a当たり収穫量	0.0 kg/10a	43.0 kg/10a
2	大豆（基幹作物）	大豆収穫量増加対策支援（除草対策・病害虫対策）		（令和7年度）	（令和8年度）
			作付面積	124.5 ha	170.0 ha
			取組面積	98.3 ha	136.0 ha
			10a当たり収穫量	0.0 kg/10a	43.0 kg/10a
3	そば（基幹作物）	そば収穫量増加対策支援（土壌改良）		（令和7年度）	（令和8年度）
			作付面積	272.3 ha	316.5 ha
			取組面積	54.6 ha	253.2 ha
			10a当たり収穫量	17.6 kg/10a	62.0 kg/10a
4	そば（基幹作物）	そば収穫量増加対策支援（排水対策）		（令和7年度）	（令和8年度）
			作付面積	272.3 ha	316.5 ha
			取組面積	30.0 ha	253.2 ha
			10a当たり収穫量	17.6 kg/10a	62.0 kg/10a
5	高収益作物（基幹作物）（別紙４のとおり）	地域振興作物作付支援	作付面積	（令和7年度） 30.6 ha	（令和8年度） 18.8 ha
6	その他高収益作物（基幹作物）（別紙５のとおり）	高収益作物作付支援	作付面積	（令和7年度） 15.8 ha	（令和8年度） 14.2 ha
7	果樹（基幹作物）（別紙６のとおり）	果樹作付支援	作付面積	（令和7年度） 14.5 ha	（令和8年度） 20.0 ha
8	そば（二毛作）	そばの作付の取組支援（二期作）	作付面積	（令和7年度） 34.3 ha	（令和8年度） 155.8 ha
9	大豆（基幹作物）	大豆輪作体系確立支援		（令和7年度）	（令和8年度）
			作付面積	124.5 ha	170.0 ha
			取組面積	21.2 ha	56.6 ha
			10a当たり収穫量	0.0 kg/10a	43.0 kg/10a
10	地力増進作物	地力増進作物作付支援	作付面積	（令和7年度） 0.0 ha	（令和8年度） 28.0 ha
11	そば	そばの作付の取組支援（国枠）	作付面積	（令和7年度） 272.3 ha	（令和8年度） 316.5 ha
12	地力増進作物	地力増進作物への助成（国枠）	作付面積	（令和7年度） 0.0 ha	（令和8年度） 28.0 ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：秋田県

協議会名：にかほ市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆収穫量増加対策支援（土づくり）	1	8,000	大豆（基幹作物）	土づくり肥料を散布
2	大豆収穫量増加対策支援（除草対策・病害虫対策）	1	6,000	大豆（基幹作物）	中耕培土を3回以上実施、かつ種子処理等の病害虫対策を実施
3	そば収穫量増加対策支援（土壌改良）	1	2,000	そば（基幹作物）	土壌改良剤を散布
4	そば収穫量増加対策支援（排水対策）	1	10,000	そば（基幹作物）	排水対策を実施
5	地域振興作物作付支援	1	40,000	高収益作物（基幹作物）（別紙4のとおり）	対象作物の出荷・販売
6	高収益作物作付支援	1	20,000	その他高収益作物（基幹作物）（別紙5のとおり）	対象作物の出荷・販売
7	果樹作付支援	1	12,000	果樹（基幹作物）（別紙6のとおり）	対象作物の出荷・販売
8	そばの作付の取組支援(二期作)	2	10,000	そば（二毛作）	対象作物の出荷・販売
9	大豆輪作体系確立支援	1	16,000	大豆（基幹作物）	前作水稲及び団地化
10	地力増進作物作付支援	1	10,000	地力増進作物	地力増進作物の作付、すき込み
11	そばの作付の取組支援（国枠）	1	0	そば	対象作物の出荷・販売
12	地力増進作物への助成（国枠）	1	0	地力増進作物	地力増進作物の作付、すき込み

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙4

【地域振興作物】（基幹作物）

区分	対象作物
野菜	ねぎ
	アスパラガス
	業務用キャベツ
	さやいんげん
	さやえんどう
	スナップエンドウ
	ミニトマト
花き	菊類
	リンドウ
果樹	シャインマスカット

【高収益作物】（基幹作物）

区分	対象作物
野菜	馬鈴薯
	枝豆
	トマト
	菌床しいたけ
	ほうれんそう
	ミョウガ
	ウド
	カナカブ
	そら豆
	玉ねぎ
	にんにく
	ナス
	タラの芽
	きゅうり
	かぼちゃ
	ピーマン
	オクラ
	イチゴ
	キャベツ
	ブロッコリー
	カリフラワー
	チンゲンサイ
	ナバナ
	コマツナ
	モロヘイヤ
	セリ
	にんじん
	大根
	サトイモ
	ヤマノイモ
	レタス
	マコモダケ
	ツルムラサキ
	ハクサイ
	ズッキーニ
	フキ
	菌床きくらげ
	ユウガオ
	ゴーヤ

区分	対象作物
野菜	トウガラシ
	ニラ
	カブ
	レンコン
	サツマイモ

区分	対象作物
花き	ベコニア
	ペチュニア
	サルビア
	マリーゴールド
	パンジー
	ビオラ
	ダリア
	バラ
	シンテッポウユリ
	トルコギキョウ
	ヒマワリ
	ケイトウ
	ストック
	キンギョソウ
	チューリップ
	シクラメン
	ハス

区分	対象作物
その他	小豆
	エゴマ

別紙6

【果樹】

区分	対象作物
果樹	いちじく
	キウイフルーツ
	ブルーベリー
	ブドウ（シャインマスカットを除く）
	モモ